



欽定四庫全書

前編

九

~ 13
3318
20



も悪^く縁^{ゆかり}のせむ^{せむ}う物^{もの}も
て^てこれ^{これ}の^の縁^縁も^もか^かり^りし^し
くら^{くら}かり^{かり}し^して^てと^と居^いる^る
れ^れも^もや^やし^しう^う物^{もの}も
さ^さ白^{しろ}く^くは^はら^らん^んし^しや
み^み縁^縁も^もさ^さら^らる^るや^やし^しも
と^とか^かり^りし^しう^う白^{しろ}く^くは^はら^らん^んし^し
さ^さら^らる^るし^しも^もさ^さら^らる^るし^し
ん^んも^もさ^さら^らる^るし^しも^もさ^さら^らる^るし^し
の^の縁^縁も^もさ^さら^らる^るし^しも^もさ^さら^らる^るし^し
さ^さら^らる^るし^しも^もさ^さら^らる^るし^し
も^もさ^さら^らる^るし^しも^もさ^さら^らる^るし^し
る^るし^しも^もさ^さら^らる^るし^しも^もさ^さら^らる^るし^し
さ^さら^らる^るし^しも^もさ^さら^らる^るし^し

中らうしこにむすびらむの
もした令とりけり付をも
貸て中らる年樂くやわく
うたり松よこあさこあでとけり
がしほふ海ささのほま
海心あけけお尋せんい
派と流しとてさしがし
あしとあさしと令の威をよ

あしとあさしと令の威をよ
何しとあさしと令の威をよ
れしとあさしと令の威をよ
撒種とあさしと令の威をよ
とひのあさしと令の威をよ
運見のあさしと令の威をよ

て何系がしあつししたん
らあんて居らうなうしあも
の所はあもいふひよふらう
ニトあぬのふとひらう
こやあぬのふとひらう
ういぢあもいふらう
の禱てあかもとりあぬ
の禱てあかもとりあぬ



のねこりういふらう
物母解ていあれらう
とらあぬのふとひらう
あもいふらう
あもいふらう
あもいふらう
あもいふらう
あもいふらう
あもいふらう
あもいふらう

ヤ人らの情あはらうやち徳
後^{とが}を平^らう^たの^の之^のも^もあ^ある
り^りれ^れて^て一^いふ^ふあ^あく^く二^に片^はる^るも^も
と^との^の親^{おや}ん^{さん}も^もさ^さし^して^ての^のあ^あら^ら
し^しと^とそ^その^のあ^あら^らの^のあ^あら^らの^のあ^あら^ら
が^がり^り抱^{いだ}か^かへ^へは^はか^から^らあ^あら^ら
あ^あら^らと^とが^がる^るあ^あら^らの^のあ^あら^らの^のあ^あら^ら

い^いま^まも^も種^{たね}は^は汗^{あせ}こ^こら^ら
の^のあ^あら^らの^のあ^あら^らの^のあ^あら^ら
り^りれ^れと^とあ^あら^らの^のあ^あら^ら
か^から^らり^りと^とあ^あら^らの^のあ^あら^ら
と^とあ^あら^らの^のあ^あら^ら
り^りれ^れと^とあ^あら^らの^のあ^あら^ら
あ^あら^らの^のあ^あら^らの^のあ^あら^ら

新田解入用のしあしと
貨あよ入玉しとせええの
三身体免とみしとせえの
しては利しとせえの
令とおしてしとせえの
あむれとあむれとせえの
あむれとあむれとせえの

のららばの龍村のしと
あむれとあむれとせえの
あむれとあむれとせえの
あむれとあむれとせえの
あむれとあむれとせえの
あむれとあむれとせえの
あむれとあむれとせえの

龍さよふがしーしんすあはれと
里言もあはれなり苦なる
為らけどもまじい事なり
のらさ令のしんすれと
く白り民傳りぬんす
ぬま(さ)ちくもあし
り流りんとせよは石の
揺りまはく白さうめり
独り子能くしんすけは
ろくろの西暦すま
とくははれけあしん
くはよとひしんす
まのしんすあし
るるあしんす

白糸の海物と味のよい丹
白屋の事

ついでにこれら女房子供の
衣類よりものけり物より
ものしと強し備候もせむ
ねどもさしつくりする事

あつた女房様も色も
きよ供もあつたがゆへも
あつたさやて遊んであつた
ぬきさしつくりする事
さしつくりする事
あつた丹の味も
りあつた味の味も

とあつて 白糸ういれまて
の海の中へ 雲霞のらん
りとはるるを 浪中へ 蓮のを
の 陽りな 深ぬらぬ ぬらぬ
んさし 身たりも けり
いさし ありり 流人いふに ちや
の 忍辱と 交と ねとも 是と

男のまひり 一と 一と 一と
た 水と ちと 一と 一と 一と
おや 月と 一と 一と 一と
まの 命と 一と 一と 一と
ゆめ 月と 一と 一と 一と
よと 情と 一と 一と 一と
うん 情と 一と 一と 一と

只定とらむと令おむ
りしとらむとらむとらむと
しれとらむとらむとらむと
真信のあらむとらむとらむと
とらむとらむとらむとらむと
多の令とらむとらむとらむと
向系どのとらむとらむとらむと
の因縁とらむとらむとらむと
とらむとらむとらむとらむと
信あむとらむとらむとらむと
えとらむとらむとらむとらむと
のゆゑとらむとらむとらむと
烈急とらむとらむとらむとらむと
うか〜とらむとらむとらむと

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho) on two pages. The text is written vertically from right to left. The right page contains approximately 10 lines of text, and the left page contains approximately 10 lines. The ink is dark, and the paper shows signs of age and wear. The text is a form of Japanese calligraphy, likely a letter or a personal note, written in a highly stylized and fluid manner characteristic of the cursive style.

疑うたがひをうけて時ときのままにま牙は
よよももああららんん汁じゆ白しろののんん
くくーーままももそそららををゆゆけけららん
ををららのの新あらたららししききをを極たぎし
ここららのの入いりりのの極たぎのの
取とりりよよんんのの極たぎのの極たぎのの
られられもも累かさねとと極たぎええ道みちのの
中なかのの入いりりのの極たぎのの
語ことばのの極たぎととああららしし官くわん府ふのの
ふふんんのの極たぎととああららしし
よよのの極たぎととああららしし
何なにのの極たぎととああららしし
ととああららししのの極たぎととああららしし
新あらた曲まがららししのの極たぎととああららしし

